



あたらしくはいった こどもの本

秋田市立図書館ホームページURL

[https://www.city.akita.lg.jp/](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/)



[kurashi/shakai-shogai/](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/)

[1008469/index.html](https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html)

おしらせ

新着読み聞かせ資料(フォンテ文庫)

●大型絵本

『はみがきれっしゃしゅっぱつ
しんこう!』(Dク)

『ハロウィンのかくれんぼ』(Dイ)

●紙芝居

『たのしいおひなさま』、『ごろたのこどものひ』など
(Kギョウジ) フォンテ文庫で貸出し可能です!



今日のテーマ展示

●『学校・幼稚園・保育園』
(特集児童4)

●『新生活応援』
(カウンター展示1)



えほん



からころ ことばのおとのおもちゃばこ②
んのえほん

たかはしみどり/作

やまうちかずあき/絵

デコ(Eヤ・アカチャン) ※0歳から

「ん」は前後の音によって、少しずつ発音が変わる文字。なんと6種類もの発音があります。「んぱちゃん、んぼちゃん」や「んしゃー、んしゃー」といったオノマトペを、そうのから、ころと一緒に声に出して読んでみましょう。いろいろな「ん」の響きが楽しめる絵本です。



ちいさなショベルカー
ベルン

すとうあさえ/作 早川純子/絵
童心社

(E八) ※3歳から

ベルンは新品のミニショベルカーです。小さいからと工事現場から返されたベルンは、大きな穴を掘るホリガーや大きな石を持ち上げるガシーンにパカにされ落ち込みます。「ぼくも土を掘りたいよう。」ベルンが次に向かった先は!?読んでいくうちに勇気がわいてくるお話です。



とらのセーター

田中映理/作・絵

岩崎書店

(Eタ) ※3歳から

大きくて怖そうなとらは、いつもひとりぼっち。ある日、大切な猫がいなくなりおばあちゃんがさみしそうなので猫のふりをしてほしいと男の子に頼まれます。とらは猫のふりをして、おばあちゃんの編み物を手伝ったり一緒に布団で寝たり。そんなある晩、猫が帰ってきたのです。



からだたんけんれっしゃ
かぜをやっつけろ!

濱田真理/文 大橋慶子/絵
交通新聞社

(Eオ) ※4歳から

おなかを出して寝ていた僕の体調が変です。かぜをひいちゃったのかな?気がつくと僕は、ママの合図と共に鼻の穴からからだ探検列車に乗り込んでいました。前方にいるあやしい列車を追いかけてのど駅へ…。かぜをひいてから治るまで体の中で起こる事が楽しくわかります。

低学年向き



おねえちゃんときせつのおはなし
ココとナツのひなまつり
いとうみく／作
つじむらあゆこ／絵
岩崎書店
(91イ)

お母さんに呼ばれてたたみの部屋に行くと、二人のおひなさまが入った、大きな箱がありました。姉のココは自分のひなかざりををいていねいに並べています。すると、ばたん！と妹のナツがとなりにすわりました。ナツは、ココの並べた小道具を持って楽しそうですが、ココは、ナツのらんぼうなにぎり方にハラハラします。



フニフとワムくん
つきよのかえりみち
はせがわさとみ／作・絵
佼成出版社
(91ハ)

ゾウのフニフの家に、ワニのワムくんが遊びにきました。フニフは彼に、大そうじをしても部屋がものだらけで片付かないと言います。ワムくんは部屋を見わたすとひらめきました。二人はいらなくなったものを庭に出して、ほしい人に持って行ってもらう、ガレージセールをすることにしたのです。

中学年向き



消えた学び舎 変わりゆくまち
それでも「ふるさと」 原発災害は今も
豊田直巳／写真・文
農山漁村文化協会
(36)

東日本大震災が起きたとき、福島県浪江町に住んでいた人たちは、原発災害のため、町の外にひなんしました。それから15年。町に戻った人は、元の人口の1割だけ。6つあった小学校は、すべて閉じられました。町に戻れなくても、思い出のつまった学校が解体されても、ふるさとを大切に思う気持ちは今も変わりません。



お元気部屋へようこそ
安田夏菜／作
紙谷俊平／絵
小学館
(91ヤ)

もしも江戸時代の寺子屋(小学校)に保健室があったら？せんべい屋のお咲ちゃんは、寺子屋に通うことになり張り切っています。ですが、お師匠さまから「まあまあ そこそこ それなりに」で良いと言われ、へたりこんでしまいます。「お元気部屋」に運ばれ、千代先生から手当を受けるのですが、そこがなんとも不思議な部屋なのです。

高学年以上



フェンシング部の王子さま
石川宏千花／作
さ・え・ら書房
(91イ)

フェンシング部にあこがれて江田学園の中等部に入學した歩羅。ところがふざけてばかりいるフェンシング部の先輩たちのノリに、気後れしてしまいます。同じクラスの遊に誘われて剣道部に入部しますが、フェンシング部のことが気になって…。揺れ動く自分の心と向き合う少年を軽やかに描いた物語。



植物・動物・鉱物の毒から病原体まで
毒のずかん
国立科学博物館／監修
偕成社
(49)

わたしたちのまわりには毒を含むものや、毒のように人に害を及ぼすものがあふれています。中には危険と見られる一方で有効な薬とされる物質も！まさに「毒と薬」は背中合わせといえるのです。この本では身近な植物や動物、鉱物、病原体などの毒について、それぞれの特性や人体への影響を写真とイラストで紹介します。